

遠野の歴史文化を紹介  
遠野史歴訪

あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。  
本コーナーでは、遠野の歴史文化や、  
遠野遺産などについて紹介します。

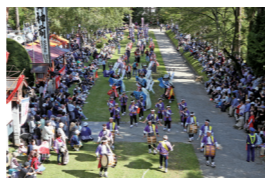


遠野まつりの前身「郷土芸能祭」  
昭和45(1970)年ころ

遠野にはしし踊りや神楽、南部ばやしといった多くの郷土芸能があり、現在活動中の郷土芸能は約65団体あります。郷土芸能は今では遠野の誇れる宝ですが、その歴史を振り返ると、停滞と継続を繰り返しながら今に伝えられていることが分かります。

遠野の郷土芸能の多くは、江戸時代から明治期に始まり、大正から昭和期にかけてもっとも盛んな時期を迎えます。しかし、第二次世界大戦前後の生活の混乱、昭和30年代の高度経済成長期によるライフスタイルの変化などにより、

郷土芸能の危機を振り返る  
—コロナ禍をきっかけに—



遠野郷八幡宮例祭での馬場めぐり。平成26(2014)年

多くの郷土芸能が廃絶したり、活動が中断したりしました。

転機となったのは、戦後の青年会活動や、昭和40年代後半に始まった「遠野まつり」でした。これらを引き継ぎに多くの郷土芸能が復活し保存会を結成。近年では少子高齢化による担い手不足などの課題を抱えながらも、各地域でそれぞれ愛着を持ち、大事に守られています。

現在、新型コロナウイルスの影響で活動が停滞しつつある郷土芸能もあるようです。そんな中、▽少人数での奉納▽インターネットを使ったライブ配信▽ホームページでの公開—など、積極的に披露の場を創出している団体も見受けられます。

これまで、多くの困難に見舞われながらも大切に守られてきた郷土芸能。知恵や工夫を出し合いながら、未来に伝えていきましょう。

市内郷土芸能団体が舞う——。

第11回遠野市郷土芸能共演会

市内53団体で構成される遠野市郷土芸能協議会が郷土芸能共演会を開催します。共演会は、郷土芸能の保存伝承だけでなく、コロナ禍で活動自粛が続く市内郷土芸能団体に活力を与え、遠野の底力を広く発信することを目的としています。郷土芸能の鼓動をお楽しみください。



- 内容 市内郷土芸能団体が踊りや舞を披露します
  - 出演団体 しし踊り、神楽、その他
  - 会場 遠野市民センター大ホール
  - 入場料 無料(申込不要)
  - 問い合わせ 遠野市郷土芸能協議会(市文化課内☎62-2340)
- ※新型コロナウイルスの影響で中止する場合は、市ホームページなどでお知らせします。来場前にホームページなどで確認してからお越しください。

問い合わせ:市文化課・市史編さん室/TEL:62-2340 ※紙面の都合で、今月の「遠野遺産」は休載します

令和4年2月11日(金・祝)〜3月6日(日)

ひびく遠野人の形

令和3年度冬季特別展

享保雜、次郎左衛門雜、古今雜、御殿雜など江戸時代から明治・大正期の遠野のひな人形を中心に展示します。

市民ご招待  
期間中、この広報を持参で  
2人まで無料でご覧いただけます

展示  
解説会

【第1回】2月25日(金)  
【第2回】3月3日(木)  
時間は各回とも13時30分~14時(予約不要)

休館日

2月7日、14日  
●遠野町家のひなまつり期間中は休まず開館

【会場】遠野市立博物館企画展示室

●とじ込みチラシ 全戸配布の負担軽減と経費削減の観点からチラシをとじ込んでいます。